
事業担当別活動状況

総務関係

〔監査〕

上半期(平成27年4月1日～平成27年9月30日)については、平成27年10月22日(木)に、下半期(平成27年9月1日～平成28年3月31日)については、平成28年4月21日(木)に監事の方にて監査が実施された。

〔登記〕

平成27年5月28日(木)定時総会開催後、登記事項に関して、平成27年7月22日(水)東京法務局にて登記を完了した。

〔定時総会〕

平成27年度の定時総会は、平成27年5月28日(木)に東京大手町レベル21東京會館に於いて13時より開催された。

主要議案としては、平成27年度の事業総括及び平成27年度の事業計画及び予算、一部役員の改選等であった。以下に議事録を掲載する。

議 案 【報告事項】

- 第1号議案 平成26年度事業報告に関する件
- 第2号議案 平成27年度事業計画並びに収支予算の件
- 第3号議案 会員の動向に関する件

【決議事項】

- 第1号議案 平成26年度決算報告の件
- 第2号議案 役員辞任に伴う一部役員改選の件

【一時中断】

- 第3号議案 会費の額及び徴収方法の件
- 第4号議案 その他

出欠状況 会員総数 119社中 出席会員 30社 委任状出席 68社 合計 98社

出席賛助会員 86企業 事業所会員 2名

来賓出席 農林水産省食料産業局食品製造卸売課 課長 矢花 渉史 殿

〃 係長 上田 麻由子 殿

開 会 定刻により奥山専務理事の司会により開会。

事務局はここで本日の定足数の確認と報告をし、会の成立と共に、定款第15条により会長を議長に推薦し満場一致で選出、会長は議長席に着席した。

議長は早速議案の検討に入った。

【報告事項】

第1号報告 平成26年度事業報告の件

第2号報告 平成27年度事業計画並びに収支予算の件

第3号報告 会員の動向に関する件

議長は事務局に対し、第1号報告から第3号報告までまとめて報告するよう指示があり、専務理事より主な事柄について手元に配布された資料に則り、次の内容を説明、また、平成27年度事業計画案について杉山政策委員長より説明がなされ、4月20日に年間の業務監査を受けた事も報告する。

- ①消費税転嫁・表示カルテル推進協議会について
- ②食品ロス削減のための商慣習検討ワーキングチームについて
- ③ハラル食品輸出に向けた手引きについて
- ④緊急災害時の食料供給に関するガイドラインについて
- ⑤新食品表示法について
- ⑥流通・取引慣行に関する独占禁止法上の指針の一部改正(案)について
- ⑦食品分野におけるプライベートブランド商品の取引について
- ⑧トラック運送業における下請・荷主適正取引推進ガイドライン改訂について
- ⑨食の6次産業化プロデューサー(愛称:食Pro.)について
- ⑩復興庁の販路開拓支援チームについて
- ⑪公益目的支出計画の実施完了の確認書について
- ⑫加工食品卸売統計調査について

また、本日の理事会にて、入会、退会の承認を受けて現在の会員数は正会員:119社 事業所会員:93事業所 賛助会員:129社 団体賛助会員:3社 となっている事を報告する。

【決議事項】

第1号議案 平成26年度決算報告の件

議長より、事務局に対し、第1号議案について報告するよう指示があり、専務理事より決算内容について手元に配布された資料に則り報告する。

議長はここで監事に監査報告を求め、味の素株式会社の品田監事は「去る4月20日に監事2名にて行われた監査の結果、業務報告を受け財務諸表及び帳票・証憑につき、適法正確に処理され報告の事実と相違ないものと認めました。」と報告がなされた。

議長は当該決算報告について承認を求め、拍手をもって異議なく承認された。

第2号議案 任期満了に伴う役員改選の件

議長より、今年度は任期中ではあるが、一部の方から会社人事の都合により役員交代の申し出があった事を説明し、事務局より詳細を報告するよう要請する。

それを受け事務局より理事・監事の全候補者案について報告を行った。

[辞任理事]			[新任理事]		
伊藤忠食品(株)	濱口 泰三	理事	伊藤忠食品(株)	青山 裕一	理事
三菱食品(株)	宮田 善康	理事	三菱食品(株)	杉山 吉彦	理事
(株)日本アクセス	宮田 敏晴	理事	(株)日本アクセス	赤井慎一郎	理事

報告を受けた議長は事務局案の承認を求め、拍手を以って異議なく承認された。
被選任者全員がその就任を承諾した。

ここで、総会を一時中断し、役員一同は別室にて理事会を開催して代表理事の後任人事を検討し全員一致で、星理事の副会長就任を申し合わせた。

これにより、國分会長・田中副会長・井上副会長・星副会長・奥山専務という、今年度の新執行役員体制を総会に報告する事にした。

ここで定時総会を再開。

事務局より先ほどの理事会で決まった今年度の執行役員体制を、書面により会場の出席者に対し配布し報告を行った。

第3号議案 会費の額及び徴収の方法の件

議長より今年度の会費の額及び徴収方法について、事務局から説明するように指示があり、額に関しては、一昨年自主申告いただいた売上額に基づく会費区分にて算定した額と同額を、また徴収方法については

- ①年額一括
- ②銀行振込み
- ③振込手数料は会員各位負担
- ④納付期限 平成27年6月30日(火)

であることを専務理事が説明し、出席者の拍手を持って承認された。

第4号議案 その他

議長から、以上を持って本日用意した議案は滞りなく終了したが、他に何か意見や質問等があったら申し述べるよう伝えたが何も無かったので、本日出席されている二人の退任役員から、順次挨拶するようお願いし、濱口泰三・宮田敏晴の2氏から、今日までのご協力に対して御礼の挨拶があった。

議長は長時間の審議に対する御礼を述べ14時20分定時総会は無事閉会された。

[理事会]

平成27年度は理事会を4月の書面決議を含めて年5回開催した。

第1回から第4回の理事会は既に会報に掲載済み。

以下に第5回の理事会議事録を掲載する。

◆第5回 理事会 平成28年3月22日(火)

- 議案 第1号議案 平成28年度事業計画案に関する件
第2号議案 平成28年度収支予算案に関する件
第3号議案 会員動向に関する件
第4号議案 役員改選に関する件
第5号議案 その他

- (1) 緊急時通行車両の事前届出について
(2) 食品廃棄物の不適正な転売事案の再発防止のための環境省の対応について
(3) 加工食品卸売業の「信頼性向上自主行動計画」～5つの基本原則～(改訂版)について
(4) 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種の登録申請について
(5) 食品ロス削減商慣習検討ワーキングチームについて総括(案)について
(6) 今後のスケジュールについて

定刻になり奥山専務理事の司会により配布資料を確認したのち開会。

冒頭に國分勘兵衛会長が次の如く挨拶を行った。



理事会で挨拶する
國分勘兵衛会長

本日は、年度でご多忙のところ、またご遠方からも、ご参集をいただきまして誠にありがとうございます。

農林水産省からは公務ご多用の中、食料産業局 食品流通課の長東正則係長様にご来臨を賜り誠に有難うございます。

また、本日お集まりの皆様方には、日頃から当協会の活動につきまして、格別のご指導、ご協力を賜っております事を厚く御礼申し上げます。特に、支部活動の重責を担っていただいております理事の皆様方には、地域活動の活性化にご努力をいただいておりますこと、誠に有難く御礼を申し上げます。

さて本日は、4月からの新事業年度の事業計画案、収支予算案などにつきましてご審議をいただきたくお集まりを頂きました。新公益法人制度になりましてから暫定予算制度はありませんので定款第36条に基づき毎事業年度の開始日の前日までに理事会の承認が必要となりますのでどうぞよろしくお願いいたします。また本年5月31日に開催予定の定時総会において全理事及び監事は改選時期にあたりますので、その候補者案につきましてもお諮りいたしますのでよろしくお願いいたします。

さて昨今の状況でございますが、昨年の10月から12月のGDPは個人消費の低迷が足を引っばって、実質で前期比1.1%減となり、年明けてからも株価が乱高下するなど日本経済の先行きに対する不安感が広がり、このままの消費環境では来年4月に予定されます消費税率引き上げの判断にも影響が出かねないような状況になってきております。この時期、暖冬の影響もあるのではないかと思います。経済活性化のために行ったマイナス金利といった政策が逆に消費者に不安感を与え、消費行動を萎縮させているという分析もあるようでございます。基本的には消費者は、支出に対する選択を一段と

厳しくしている構造にあるということだと思いますので、業界としては価格と価値のバランスを追求しながら地道にデフレ脱却の道筋を求める事が肝要かと思います。

また、流通のプラットフォーム的役割を担う卸業界としては、日食協活動を通じて業界が協調して新技術の導入を研究して、流通のインフラ基盤を強化し、中間流通機能の効率性向上や革新的機能性を創造していく事も重要かと考えておりますので、よろしくお願いします。

本日は、今年度の食品業界の課題等について事務局から報告させていただき、今後の課題につきまして事業計画案を審議して頂きたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いします。

以上、簡単ですが私からの開会のご挨拶とさせていただきます。

続いて、司会者より本日の来賓者を紹介する。

農林水産省食料産業局食品流通課 係長 長束 正則 様
オブザーバー 三井食品株式会社 代表取締役社長 藤吉 泰晴 様



理事会で挨拶する
農林水産省食料産業局
食品流通課 長束正則係長

引き続き、農林水産省食料産業局食品流通課 長束係長が平素の農林水産行政推進への協力に対し謝意を述べられ

1. 緊急災害時対応食料調達可能量等調査と緊急通行車両事前登録について
2. 食品廃棄物の不適正な転売事案について

の二点について農林水産行政の立場から現在の状況と一層の協力要請を説明された。

続いて 事務局より本日の出席状況が下記の如く報告され

出欠状況 理事総数 23名 出席理事 19名 ・欠席理事 4名
 監事総数 2名 出席監事 1名 ・欠席監事 1名

ここで本日の会は定款第32条の定めにより定足数を満たして適法に成立することが事務局より報告され、これと共に定款第31条の定めにより会長を議長にお願いすること、また定款第33条の議事録と記名押印者の説明をして審議に入った。

第1号議案 平成28年度事業計画案に関する件

第2号議案 平成28年度収支予算案に関する件

議長より、第1号議案と第2号議案は関連があるので一括して報告するよう指示があり、事務局は手元に配布された資料に則り事業計画案・収支予算案のポイントを説明する。

議長は、事務局より報告の有った第1号・第2号議案に対し質問・意見等求めたが、異議なく拍手を以って承認された。

第3号議案 会員動向に関する件

事務局は正・事業所・賛助・団体賛助 それぞれの会員数について現在の状況を説明、また この

度、北海道地区、東北地区、関東地区、東海地区、近畿地区、中・四国地区および九州・沖縄地区における正会員の新規加入申し込み先の審議をお願いし、全員から承認を得た。

第4号議案 役員改選に関する件

本年は任期満了に伴う役員の改選時期であり、5月31日の定時総会の終結をもって全理事および全監事の任期が満了するため、あらかじめ事務局より役員各位にご意向を伺わせた所、一部の方より会社人事の都合等により交替の申し出を受けたが、その他の皆さまからはご内諾を頂戴することが出来たので、詳細に関して事務局より説明するよう議長は指示、事務局から報告がなされ拍手を持って承認された。

第5号議案 その他

議長より、その他に事務局から連絡事項を報告するよう指示があり、事務局は定款第22条第5項に規定されている会長・副会長及び専務理事の職務執行状況の報告についてこの理事会における事業報告をもってこれにあてる旨を説明し、

- ①緊急時通行車両の事前届出について
- ②食品廃棄物の不適正な転売事案の再発防止のための環境省の対応について
- ③加工食品卸売業の「信頼性向上自主行動計画」～5つの基本原則～対応について
- ④新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく特定接種の登録申請について
- ⑤食品ロス削減商慣習検討ワーキングチームについて
- ⑥今後のスケジュールについて

以上の事柄に関して報告を行った。

ここで議長は緊急時通行車両の事前届出に関する協定書の締結についてその賛否を議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

また議長は、第4号議案の役員改選に関する件に関連し、当協会の理事の中で執行部を選出する際にどのような制度で選任するかについて、事務局で案を作成して4月に行う書面決議の理事会で承認を得る形にしたい旨を議場に諮ったところ、満場異議なく承認された。

事務局はこれについて理事会内規を作成する方向で進める旨を説明した。

議長は、用意した議案は以上であるが折角の機会であるので何か意見・質問等が有ればと声を掛けるところ、堀内理事より緊急時通行車両のみならずライフラインを担っている卸の小売業への生活物資を運ぶ配送車両の通行も重要である点が述べられ、また荒木理事より人手不足にからみ、これまでの取引形態上で陳列応援等の労務提供の問題もあり、新しい時代の卸としての取引慣行について研究を深めて欲しい旨の発言があった。

議長は、ほかに意見等が無いので13時30分に全ての議事を終了した。

以上の決議を明確にするため本議事録を作成し、議長、出席監事が記名捺印する。

平成28年3月22日

一般社団法人日本加工食品卸協会理事会において

議長代表理事	國 分 勘 兵 衛
出席監事	品 田 英 明



理事会会場

[正・副会長会議]

理事会に先立ち年2回開催し、当日の理事会の議案内容や業界の課題等について意見交換を行った。また専務理事から会長に定期的に業務報告が行われご意見をいただいた。

◆第1回 正・副会長会議 平成27年11月5日(木)

平成27年11月5日(木)東京アーバンネット大手町東京會館に於いて午前10時30分より正副会長会議を行い、この後開催される理事会の運営内容等について確認を行った。

◆第2回 正・副会長会議 平成28年3月22日(火)

平成28年3月22日(火)東京アーバンネット大手町東京會館に於いて午前10時30分より正副会長会議を行い、この後開催される理事会の運営内容等について確認を行ったが、特に、5月開催予定の定時総会で任期満了に伴う役員改選が行われるのでその事案について意見交換が行われた。

本部事業活動

[政策委員会／食品取引改善協議会／消費税転嫁・表示カルテル推進協議会]

◆第1回 平成27年5月15日(金)

平成27年度第一回目の政策委員会を5月15日(金)午前10時30分よりアーバンネット大手町ビル東京會館で開催した。

宮田政策委員長の挨拶の後、議題に入り、①3月27日の理事会報告として、地方支部の統合再編に関する件及び理事の定年制度に関する件を報告 ②消費税の軽減税率制度に対する基本的見解について(案) ③生団連「買エルマンキャンペーン」開始の件 ④「新しい介護食品(スマイルケア食)」の提供方法に関する基本的考え方(事業者向けガイドライン)農林水産省 ⑤物流事業者との取引の公正化について(要請)公正取引委員会 ⑥食品取引改善協議会に関して ⑦消費税転嫁・表示カルテル推進協議会に関して ⑧賛助会員幹事店会の運営等について議論した。

◆第2回 平成27年10月27日(火)

今年度第2回目の政策委員会兼食品取引改善協議会を10月27日(火)午前9時半より日食協会議室にて開催した。主要議題は、上半期を終了しての事業活動の総括と下半期に向けての事業活動の検討であった。特に11月に開催予定の理事会や賛助会員幹事店会の内容についての確認を行った。

【上半期事業活動報告】

- ①農林水産省の組織変更について
- ②TPP協定交渉の大筋合意について
- ③食品循環資源の再生利用等の促進に関する基本方針の策定について
- ④農林水産分野における個人情報保護に関するガイドラインの改正について
- ⑤平成27年度食品サプライチェーン強靱化総合対策事業について